

# 桜の聖母短期大学における インターンシップ及び事前事後学習について

桜の聖母短期大学 加藤 竜哉

2018年2月27日 東北インターンシップ推進コミュニティ主催  
「企業と大学のためのインターンシップ研修会 講演資料」を元に加筆修正

# 本学のご紹介

- ・ 住所：福島県福島市花園町3-6
- ・ 1955年 開学
- ・ キャリア教養学科，生活科学科 各定員100名
- ・ 専任教員：21名，専任職員：17名



# インターンシップ対象学生の移り変わり

～平成20年

平成21年

平成22年

平成24年～

英語学科

英語学科＋  
福祉デザイン  
コース

英語学科＋  
ライフ  
デザインコース

キャリア教養学科

共通教育科目

専門教育科目

- 当初から，単位認定（1単位，5日以上）
- 学外実習のある学科・専攻・コース以外の学生が履修
- 平成24年から平成28年：必修科目
- 平成29年からキャリア教養学科の専門科目&選択科目へ

# インターンシップ事前事後学習の取組

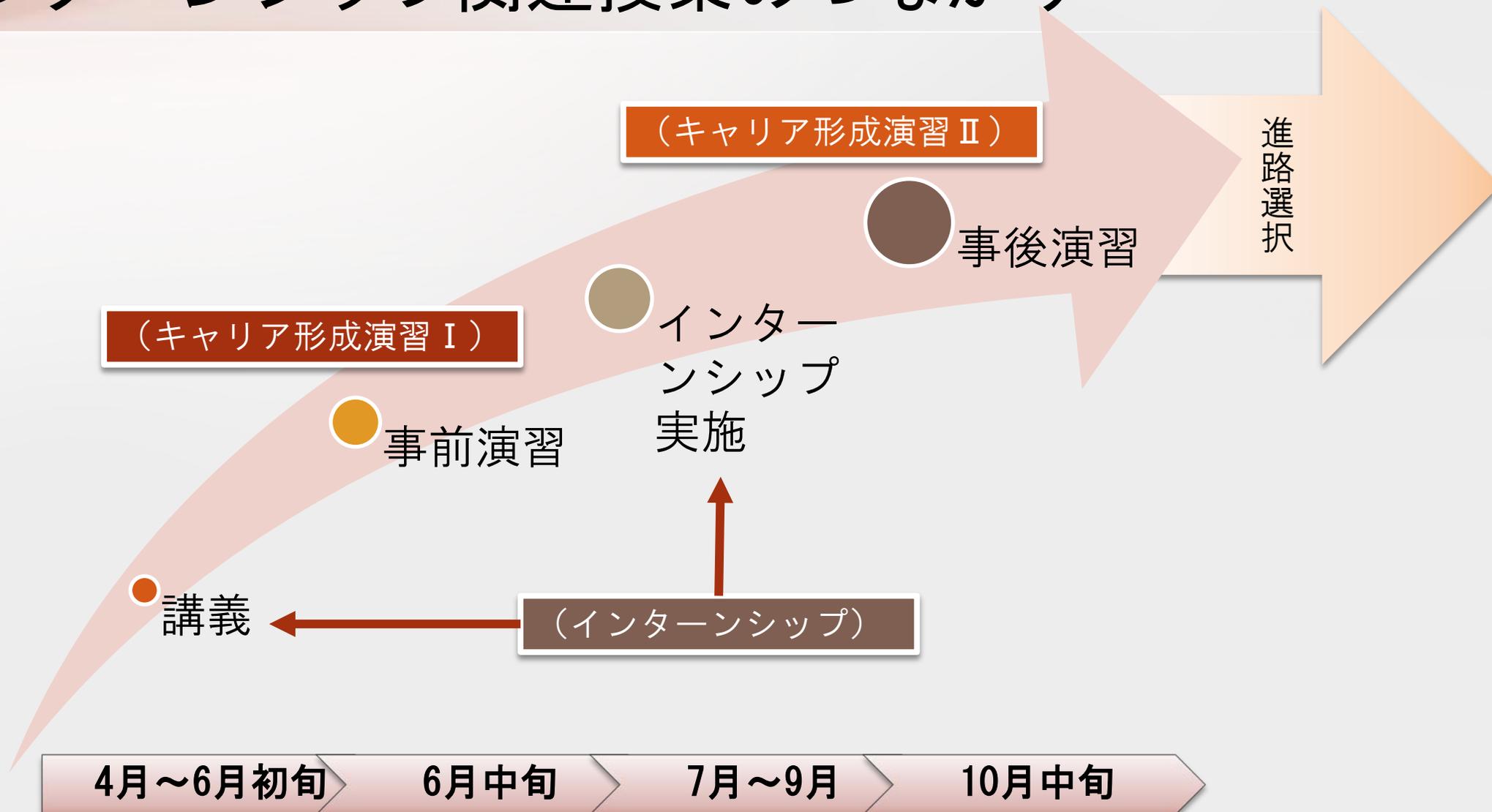
## 平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」採択

- ・平成23年度より，事前演習(6月)，事後演習(10月)

## 平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」採択

- ・平成25年度より，インターンシップにおける4大学連携スタート（桜の聖母短期大学，岩手県立大学，岩手県立大学盛岡短期大学部，岩手県立大学宮古短期大学部）：  
→ **isプロジェクト**
- ・平成26年度より，国立岩手山青少年交流の家で  
**「インターンシップ学生交流大会」（事後学習）開始**
- ・平成26年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業（テーマB）」採択  
終了後も継続中

# インターンシップ関連授業のつながり



# インターンシップの評価

- ・ インターンシップ前の授業態度・振り返りシート（6回分）
- ・ 企業評価シート
  - 「規律性」「主体性」「傾聴力」「発信力」「状況把握力」「課題発見力」「実行力」「総合評価」の5段階評価
- ・ 日報の作成と提出
- ・ お礼状を送る
- ・ 実施中の企業訪問とインタビュー  
(評価対象外, すべて実施できないため)

# インターンシップ関連科目の単位と時間

科目名	単位数	特徴	備考
インターンシップ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月～6月 →6回講義</li> <li>7月～9月 →インターンシップ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義 →目的, 業種, 職種, →終了までの流れ, 手続き</li> <li>インターンシップ → 5日以上</li> </ul>
キャリア形成演習Ⅰ	1	6月の土日集中	事前学習
キャリア形成演習Ⅱ	1	10月の土日集中	事後学習
インターンシップ 学生交流大会	—	9月末から10月初旬の土日	国立岩手山 青少年交流の家

# インターンシップ事前学習（科目名：キャリア形成演習Ⅰ）

## 【目標】

- ・ グループ内で協調した作業を行うことができる。
- ・ 自身の内面を記述したり開示できることで，他者へ開示できる。
- ・ 自身の質問の傾向を知ることができる。
- ・ 働く意義を理解できる。
- ・ インターンシップ実施に向けて，行動計画と目標を設定できる。

## 【特徴】

- ・ 入学後2か月→グループワークに慣れる
- ・ 2年生のボランティア参加
- ・ 個人ワークとグループ発表

ファイル「キャリア形成演習Ⅰ\_タイムテーブル.pdf」を参照してください。

# キャリア形成演習 I 内 「みんなでインタビュー」のポイント



## (インタビューを受ける人のルール)

- どうしても答えられない質問には、「パス！」と言って、回答をパスすることができる。

## (インタビューをする人のルール)

- インタビューをする人は、順番が回ってきたら質問できるが、質問の順番は必ず守ること
- 一人のインタビュアーが一回に続けて質問できるのは、3つまで

# キャリア形成演習 I 内 「先輩へインタビュー」のポイント

## <2年生>

- ・ 事前にボランティアを募る
- ・ ISが1年前なので、資料などを見て事前に振返ってもらう
- ・ 当日：自分から決して話をしない（聞かれたことに答える）

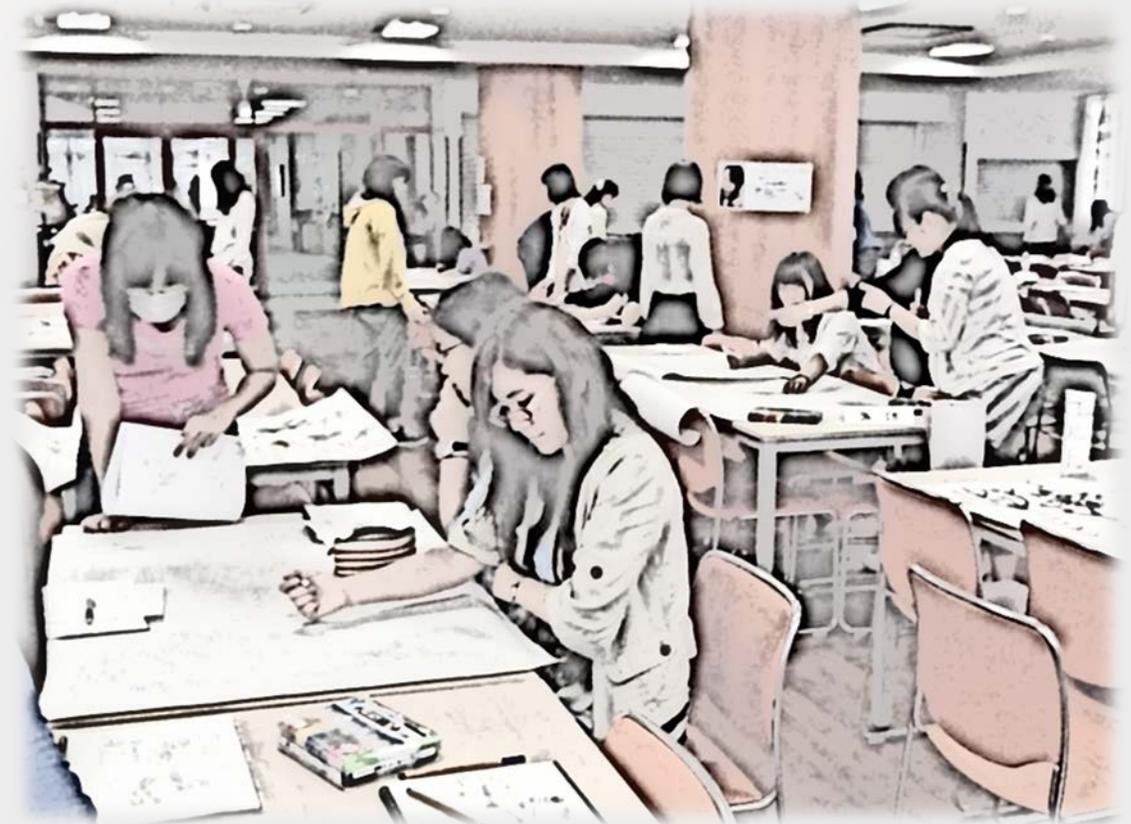
## <1年生>

- ・ どのように、何をインタビューするのか（事前にグループワーク）
- ・ 誰にインタビューするのか：チームワーク



# キャリア形成演習 I 内 「グループによるマインドマップ作成」

- 個々の目標
- 全体での合意形成
- 模造紙の内容  
(KJ法も使用可)
- 発表の方法
- 役割分担



# キャリア形成演習 I 内 「グループ発表」のポイント

- どのグループを聴いたか
- どのようなことを聴いたか
- 質疑応答からどのようなことに気づいたか
- 感想など



発表の振り返りと共に記入し、  
提出



# キャリア形成演習 I 内 アクションプランの作成と提出

- インターンシップ先
- アクションプラン
- 目標設定



「キャリア形成演習 II」でも  
振返りに使用

インターンシップへ向けて	
インターンシップ企業名とインターンシップ実施月日（複数の場合は複数記入。万一未定の場合はその理由）	
私の良いところ	
私の改善すべきところ	
インターンシップに向けてのアクションプラン	
インターンシップ：私の目標	

# インターンシップ事後学習（科目名：キャリア形成演習Ⅱ）

## 【目標】

- ・ インターンシップを振り返り、得たこと学んだことを整理できる
  - ・ 一人でポスターを作成し、ポスターセッションを行うことができる
  - ・ インターンシップ経験を今後どう活かすかを具体的に考えることができる
- 進路（編入・就職）へ向けた課題と、その課題を解決するための行動計画を作成できる

## 【特徴】

- ・ 企業評価と自己評価の比較
- ・ 一人でポスターを作り、発表する（小さいサイズから大きいサイズへ）
- ・ C. A. P. S. (Co-Active Poster Session) の開発と導入（C. A. P. S. : 後のスライドや資料をご覧ください）

ファイル「キャリア形成演習Ⅱ\_タイムテーブル.pdf」を参照してください。

# キャリア形成演習Ⅱ内の 「私は・・・」 & 「私のインターンシップ」

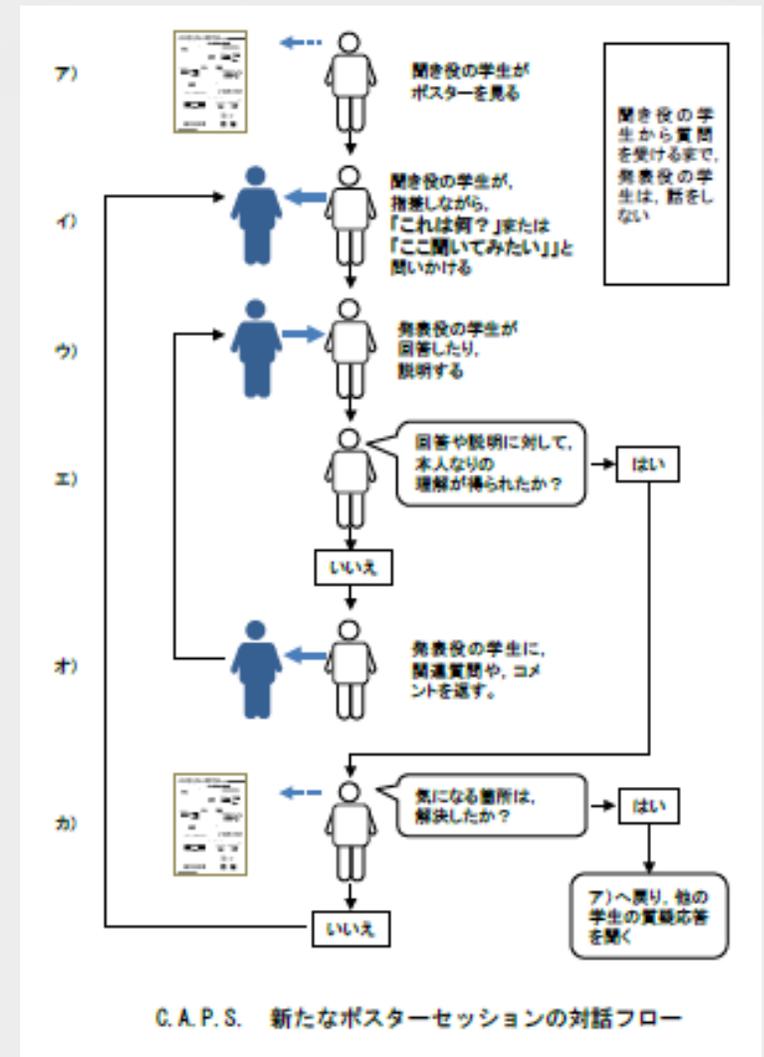
- ・ 学生が作成する用紙のサイズを徐々に大きく
  - 「私は・・・」：A4サイズ
  - 「私のインターンシップ」：A3サイズ
- ・ 相手から質問する
  - 「これは？」 「これって何？」 「ここもう少し教えて」
- ・ 自分が伝えたいことと、相手が知りたいことのギャップを知る  
↓
- ・ 意思疎通がしやすい
- ・ 話しが苦手な人でも対応可能
- ・ 話したいことがある：「ぶっちゃけタイム」の設定



# C. A. P. S. (Co-Active Poster Session)

- 関わる教職員のNG発話
  - 「ポスターを、もう少し〇〇したらよかったんじゃない?！」
  - 「これは、・・・の方がいいよね」
  - 「ここ、こうしたら・・・」
  - 「ここは、わかりづらいね」
  - 「質問に的確に答えていないよね」
  - 「もうちょっと、しっかりしようよ」
- 省察的質問ではない質問：  
なぜ(Why)+否定形を使わない問いかけ

ファイル「新たなポスターセッションの対話フロー.pdf」を参照してください。

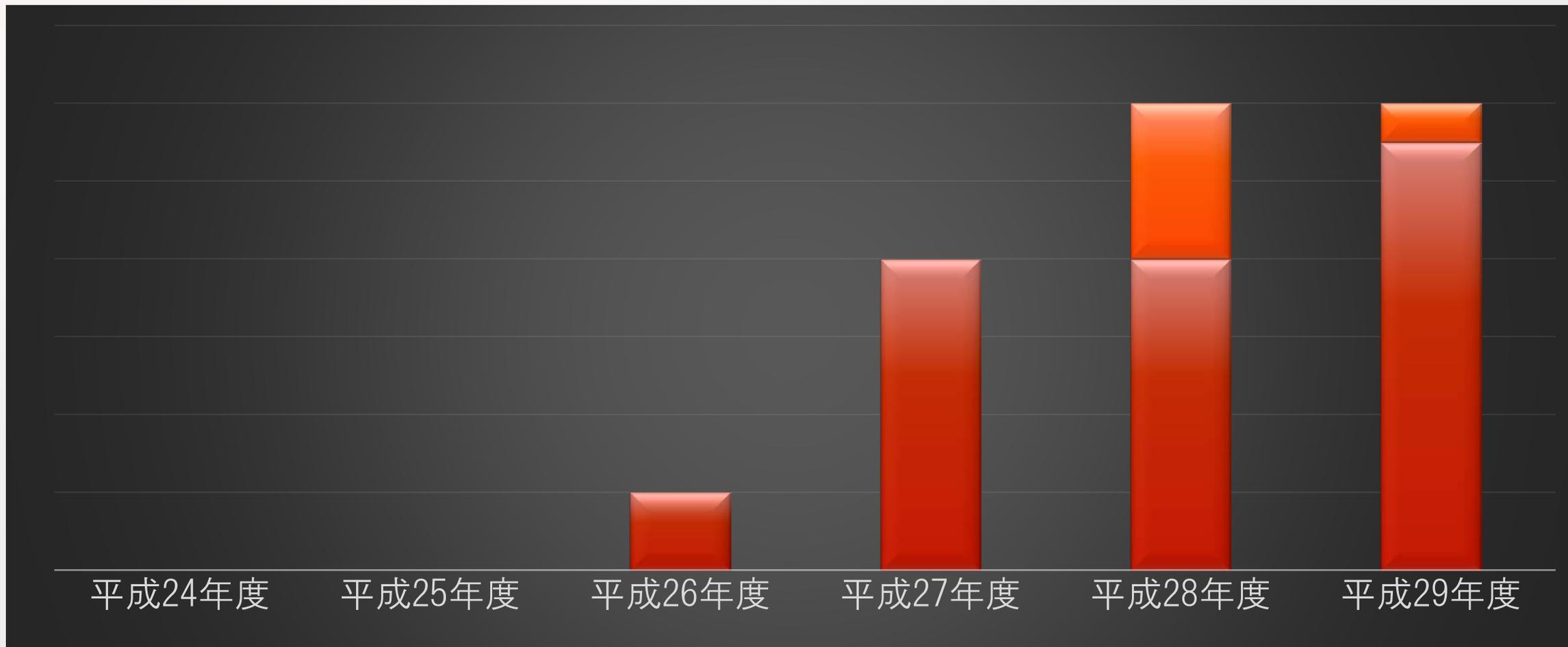


# インターンシップ 学生交流大会の様子

参加大学：岩手県立大学、岩手県立大学盛岡短期大学部、同宮古短期大学部  
開催場所：国立岩手山青少年交流の家  
カリキュラムは、「キャリア形成演習Ⅱ」を元に設計・改編



# 複数企業でのインターンシップ実施者数推移



データをお見せできませんが、内々定時期も毎年早まっており、内々定者数も増加傾向

# まとめに代えて

- ・ 教員の、単位時間を超えた熱意，意欲，行動力
- ・ 詳細な授業設計
- ・ 評価にルーブリックを導入
- ・ インタラクティブ(双方向)の徹底
- ・ ファシリテータ：決してハナシテータ、カタリテータにならない
- ・ C. A. P. Sは、男性・女性問わず利用できる

# 最後に・教員の質的レベルが課題？

## 現在求められる姿

- ・ インストラクショナルデザインを駆使し，授業の詳細な設計と目標設定＋学生個々を尊重した対応＋話題性＋実社会で通用するコミュニケーション力＋専門性

・ 100回同じことを聴かれても，笑顔で応える

・ 教鞭をとる

ご清聴ありがとうございました